

亞細亞局

機密第一一三號

昭和四年二月十二日

在間島

總領事 鈴木要太郎



昭和四年貳月拾八日接受

外務大臣男爵田中義一殿

支那側ノ日本ノ對東三省陰謀計畫查防方

訓令ニ關スル件

(琿春頭道溝分署長報告)

本件ニ關シ駐琿春第二十九團長ハ容臘二十八日  
附東北邊防保安副司令張作相ノ訓令ニ基キ所屬  
部隊ニ對シ左記要旨ノ如ク之ヲ轉令シタリト

記

張總司令ノ訓令ノ奉スルニ曰ク奉天憲兵司令ノ報告ニ  
依レハ日本ハ東三省カ國民政府ト合體シ易賊斷行以  
來各機關組織ノ改正新稅率實施ノ準備等着々統  
一ノ實ヲ舉ケツツアルニ徴シ東三省ハ近キ將來ニ於テ  
日本ノ滿蒙ニ於ケル利權ヲ回收セムトスル舉ニ出ツヘシ  
トノ觀測ヲ以テ之ニ備フル對抗的實力團體ノ擡頭ノ  
画策シ之ヲ支援シテ東三省ノ實權ヲ掌握セシメ國民  
政府ニ對抗セシムトシ巨額ノ費用ヲ投シテ目下大連  
ニ蟄伏セル前直魯聯合軍ノ敗將張宗昌孫傳芳前陸  
軍總長吳光新前國務總理潘復等ヲ使喚シテ來ル  
二月中旬頃ヨリ之カ計畫的行動ニ着手スル筈ニシテ  
過般吳光新ハ子弟ノ教育ニ名ヲ藉リテ渡日シ日本  
ニ於ケル首腦軍閥ト密ニ會見シテ右陰謀ニ關スル

S 161536 259

S 161536 258

凡テノ協議ヲ遂ケタリト之ヲ按スルニ日本ハ滿蒙ニ於ケル自己ノ利權ヲ擁護シ尙將來益、東三省ニ對シ侵略ヲ逞フセムトスルモノタルコト明カナリ、各省軍民長官ハ能ク下僚ヲ督勵シテ查察警戒ヲ嚴密ニシ以テ危難ヲ未然ニ豫防スヘシトアリ

各軍團ノ長ニ於テハ所屬部隊ヲ戒飭シ相互ノ連絡ヲ密ニシ此際親日派ト認ムヘキ中人官民ノ行動並是等同志間ノ通信狀況商埠地内外ニ於ケル日人ノ行動、中人ノ南北統一反對分子等ノ行動ニ付テハ嚴重ナル查察ヲ遂ケ苟クモ不審ノ點アルヲ認ムルトキハ直ニ之ヲ銃殺シ日人ニ對シテハ尾行ヲ附スル等萬遺憾ナキヲ期セラレハシ

ラレハシ

本信寫送付先

在支公使、奉天、吉林、哈爾濱各總領事

長春、安東各領事、通化分館主任

朝鮮總督、咸南、咸北、平北各知事

朝鮮軍參謀長、第十九師團參謀長

羅南憲兵隊長

管内各分館主任各署長分署長

S 161536 261

S 161536 260

四三二五 五九二四〇

海軍次官  
軍令部次長

海軍省  
此等事情駐在武官

機密

機密七一番電

一、探聞スルニ五、六外交部長、同支交渉決裂セハアラズト  
特ニ打電シ来レド

ニ一昨日妻名シテ當館ニ宿泊セシ三名、日本ノアリ内一名  
小官ニ極秘密トテ譲リシ所ニヨリハ彼ハ張守昌副顧問  
向青本向榔トシ他ノ二名ハ部下ニシテ来京ノ目的  
ハ連ハ難キニ来月中旬頃迄滞在ノ豫定ナリ尚張  
又金々山東ニテ學スルニ決セリト 目下交際監視中  
十号

S 161536 ! 262

張守昌

ナ

湯野川青島駐在武官

海軍次官

軍令部次長

極秘

機密ニ一番電

張守昌ノ函起運動ニ伴ヒ日本陸海軍並東亞艦隊  
ノ援助ヲ受ケ居ルハ如キ彼等ノ宣傳ハ益々深刻ナルニシテ  
何レモ事實無根ニシテ當地支那海軍ニテ判物ト打滑  
シ居リ我旅大ニ隱シ策動セシムルハ一考ヲ要スルモイテ  
十号

S 161536 263



信寫

田中外沙大臣

第一一七號

本省 二月十五日 發

桑島總領事

亞

了

法家名國作

發安丸擱置事件ノ爲當該船在中ノ北村ハ河南省ニ於テ往來桐村  
 取引ニ從事シ居タル關係ヨリ今尙與價學ノ願問ノ肩書ヲ有シ(現  
 ニ祝辭本願問ノ肩書ヲモ有ス)居ル事ノ語ル所ニ於レハ數日前  
 吳ノ代筆トシテ劉某來館同人ニ對シ銃器三萬五千挺ハ島又ハ芝罘  
 渡シトシテ輸入方ノ依頼アリ代金ノ如キハ張宗昌カ反國民政府選  
 同ノ爲私財八百萬元ヲ投ケ出シ居ルニ付其ノ支拂確實ナル旨申添  
 アリタルカ目下ノ狀ニテハ右輸入不可能ナル旨ヲ答ヘシニ右代

發ハ張宗昌代表李某ト同行船四川ニ引返セル趣ナリ尙近來當  
 方ニ於テハ壽日及一號支那人同ニ壽記長國政府運動ハ近ク具  
 化スルカ如ク盛ニ當ヘラレ居レリ右東總長官發問下宛報外  
 二一號ニ關シシテ  
 (上海ヨリ東總長官ヘ電アリタシ)  
 在支公使上海、南京ニ電セリ

161536 265

161536 264

電信寫

16.15.19-2  
雜色軍  
五部軍  
二月下旬  
山東方面

昭和4 二一九八 暗

本省

二月十六日後着

西田總領事代理

第三一號ノ一

關東長官發閣下宛電報第二一號ニ關シ

當地方面ニ於テモ一月末來略同様ノ噂流布セラレ最近龍口、芝罘方面ノ事實ニ伴ヒ益々其ノ噂高マレル處當地ニ於ケル山東方面ノ狀況ニ關シ各種ノ情報ヲ綜合スルニ大要左ノ通

一、膠濟鐵路北方ノ雜色軍トシテハ章邱ヲ根據トスル張明九一派ノ土匪軍アリ魯光方面ヲ中心トシテ黃河以東昌邑附近ニ亘ル高鳳岐軍約一萬餘アリ青州城内ニ劉振標、劉景堂等割據シ朱

津漢(朱ハ一時魯東保安總司令ト稱シ蔣介石ト聯絡セムト計リ居ルモ最近勢力ヲ失シ朱自身ハ目下濟南ニアリ)ノ直屬部隊  
ヨークイテイ等ノ一部ハ其ノ附近ニ昌樂ニ紀之成高密方面ニ陳子成軍アリ山東東北部ニハ表面蔣系ノ暫編第一軍劉珍年軍アルカ目下劉ノ部下タリシ劉開泰、施中誠、李錫桐、李シセイ等ハ顧謙、高鳳岐軍ノ一部ト合シ劉排斥行動ヲ起シツツアリ東南部ニ於テハ昨年末蔣系ノ譚曙卿ヨリ改編ヲ受ケタル劉志陸、顧謙、謝文炳軍劉景堂(劉黑七ノ別名)等アリタルカ劉志陸、謝文炳ハ各々江蘇境ニ移駐シタルモ顧謙(諸城ニアリ同軍ノ一部ハ北上セリ)劉景堂(莒州日照方面ニアリ)今尙動カス  
三之ニ對シ泰安政府側ノ膠東掃匪計畫ニ付テハ陳以燦ヲシテ各縣

S 161536 267

S 161536 266

國家軍  
存案

民團ニ依リ人民自衛團ヲ組織セシメテ各縣掃匪ニ從事セシム  
計畫アル外東南部ニ對シテハ馮系ノ楊虎臣（兵力約二萬）東進  
シテ其ノ先發隊ハ既ニ一月末莒州方面ニ到着シ劉景堂、顧震軍  
ヲ壓迫シツツ坊子高密方面ニ出テムトシ吉鴻昌部隊ハ民團ト共  
ニ博山方面ヨリ青州方面ニ進出セムトシツツアリ濟南以北ニハ  
馮系ノ任應岐約二萬德州ヨリ禹城晏城間ニ駐屯シ馮系ノ馬鴻逵  
（新編騎兵ノ一個旅）武定方面ニ根據ヲ有シ黃河ヲ渡リ高鳳岐  
軍ヲ衝テ東進セムトシ（續ク）

S

161536

268

電信寫

北洋派運動

昭和4 二一九九 暗

濟南 本省 二月十六日後着

亞

田中外務大臣

西田總領事代理

第三一號ノ二

其ノ總隊備隊トシテ目下楊村方面ニアル劉鎮華（約二萬）ヲ南  
下セシメ膠東方面ニ進マシムル計畫ナリ泰安方面ニハ孫良誠ノ  
直屬部隊約三個師團アル外最近濟南事件交渉解決後濟南及膠濟  
沿線ノ地方治安維持ノ爲一千餘名ノ憲兵及警察隊ヲ訓練シ尙濟  
南、開封間ニ既ニ軍用路ヲ開キテ馮軍直系部隊ヲ急送セシムル  
コトトナリ舊直魯軍タリシ徐源泉軍（約二萬ハ天津方面ニテ閻  
錫山軍ニ改編セラレタル處其ノ後何成毅ノ斡旋ニ依リ蒋介石系

ニ入ルコトトナリ安徽ニ移駐ヲ命セラレタリ）ハ禹城、齊河、  
長清縣ニ南下シツツアルカ部下中ニハ安徽ニ到ラハ改編セラレ  
ルヲ不滿トセル者アリト謂フ

三、大連ニ在ル吳光新ハ段祺瑞ヲ擁戴シテ北洋派ヲ結束セシメ國民  
政府ノ左右兩派ノ争鬭開始時期ニ國民政府ノ施政ニ反感ヲ有ス  
ル者ト策動シテ先ツ馮玉祥ヲ倒サムトシ山東方面ニ於テハ張宗  
昌及張敬堯ヲシテ之ニ當ラシムルコトトシ張宗昌ハ舊勢力ヲ利  
用シテ劉珍年ヲ追放ヒ芝罘及龍口方面ニ其ノ根據地ヲ作り膠東東  
南部ハ顧震、劉黑七等ヲシテ事ヲ起サシメ膠濟沿線及附近ハ雜  
色部隊ヲシテ青州、高密等ニ根據地ヲ作ラシムル外津浦沿線ニ  
テハ一月以來當地ニ在ル張敬堯、任應岐ト密カニ聯絡シ且南下

S 161536 270

S 161536 269

中ノ徐源泉軍ノ主力部隊泰安西方ニ到着スルヲ俟テ同時ニ馮反  
對派ニ策應スルコトトシ其ノ際馬鴻逵ハ中立ヲ守リ又閻錫山、  
李宗仁等モ之ニ加擔シ吳佩孚ノ關係ヨリ最近劉湘トモ聯絡成リ  
適當ナル時機ニ四川ニ旗擧シテ後方ヲ威嚇スル計畫ナリト謂フ

(續ク)

S

161536 271

REEL No. A-0804

0153

アジア歴史資料センター



意見  
留任

電信寫

昭和4 二二〇〇 暗

濟南 本省

二月十六日後着

亞

田中外務大臣

西田總領事代理

第三一號ノ三

反馮派ノ新ル計畫ハ全然謠言ニ止マラス吳光新、張宗昌、張敬堯等カ該計畫實現ニ努力セルモノト認メラルル處從來張宗昌ノ如キ十餘萬ノ兵力ヲ有シ北ニ尙張作霖アリシ際ニ於テサヘ敗北シ且山東ノ人心ヲ全然失ヘル故ニ膠濟沿線ノ雜色部隊ハ何レモ多クハ土匪的ノモノニシテ主義トテハ無ク自己保全ノ爲時々二三首領間ニハ攻守同盟ヲ爲スモ其ノ離合常ナラス又任應岐及徐源泉軍トノ聯絡ノ如キ果シテ如何ナル程度ノモノナルヤ疑シク

吳等ノ多少組織的ナル運動ハ山東一部ニ於テ或ハ一時實現スルヤモ計リ難キカ今日ノ大勢ヨリ見テ國民政府内ニ左右兩派ノ内争具體的ニ實現スルカ或ハ新軍閥間ノ争鬪勃發セサル限り結局失敗ノ外ナキモノト認メラルル處茲ニ注意スヘキハ斯ル計畫カ我軍ノ駐屯中若クハ撤退直後ニ事ヲ擧ケテ間接ニ我軍ヲ利用セントスル形跡アルコトナリ我方トシテハ何等關係セスト雖國民政府或ハ其ノ他ノ第三者ヨリ之ヲ見レハ彼等ヲ援助セルカ如キ疑心ヲ生セシメ徒ニ種々ナル口實ヲ與フルコトトナリ我方ニ惡影響ヲ來シ延テ目下ノ日支交渉及之ニ伴フ撤兵ニ付テモ重大ナル關係ヲ及ホスノミナラス斯ル反國民政府ノ行動ノ結果ハ將來濟南及膠濟沿線在留邦人ノ居住不安並膠濟鐵道運行阻礙ノ禍根

S 161536

273

S 161536 272

タル虞アルニ付本官トシテハ是等ノ諸點ヲ考量シ時々藤田總領  
事及軍部トモ協議セル次第ナルカ我當局ニ於テモ對支策全般ヨ

リ特ニ御考慮相成度シ御參考迄

上海ヨリ南京へ暗送アリタシ關東長官ニ意譯ノ上郵送セリ

北京、青島、奉天、天津、上海、漢口、芝罘へ轉電シ張店、博山、  
坊子へ暗送セリ

S

161536 274

REEL No. A-0804

0165

アジア歴史資料センター



昭和4 二二三二 暗 旅順 本省

二月十八日前着

木下關東長官



外第二二號



張宗昌ヲ中心トスル一派ノ計畫ニ關シ吳光新ノ内話ノ次第ハ往電外第二一號ノ通ナル處右計畫ハ最近相當具體的ニ進捗シ居レル模様ニテ今日迄當廳ニ於テ接手シタル情報ノ主ナルモノ左ノ通御參考迄

一、二月六日張カ其ノ實母ニ對シ再起計畫ニ關シ各方面トノ聯絡略成り第一方面軍（四川）吳佩孚、第二方面軍（上海）陳炯明第三方面軍（大連）張宗昌ヲ司令トシ段祺瑞ヲ推戴シ南北呼應

電信寫

陸海軍  
寫送付済

スル考ナリト内話セリ

三、容月三十一日旅順支那人印刷屋ニ共和大同盟規約、入盟願書、誓約書、共和大同盟加入者證明書及加入者名簿用紙ノ印刷ヲ註文シ既ニ出來シタルモノノ如シ

三、旅順黃金臺別莊ニ於テ塔婆型布袋ノ壹間標識廿四個、夜間司令標識トシテ高二尺四寸、直徑一尺六寸ノ提燈八個ヲ作製セル形跡アリ

四、二月十六日張ハ信スヘキ筋ニ對シ龍口ヨリ芝罘向ケ進ミタル部下ハ芝罘ヲ去ル六十支里ノ地點ニ到達シ自分ハ部下約百二十名ト共ニ豫テ借入レタル栃木商會社ノ汽船八幡丸ニ二月十九日午後十二時ヨリ翌二十日午前三時迄ノ間ニ大連星ヶ浦沖ニテ乗込ミ出帆龍口ニ上陸ノ豫定ナルモ出發前ニ芝罘カ我軍ノ手ニ入

張宗昌  
山本行、計

S 161536

276

S 161536 275

レハ豫定ヲ變更シ芝罘ニ上陸スル心算ナリト語リタルカ右ハ二月十七日ヨリ二月廿五日迄ノ間二千五百圓ニテ傭船契約ヲ爲セシモノナリト云フ

往電外第二一號ト同様轉電セリ

S

161536 277

REEL No. A-0804

0157

アジア歴史資料センター

寫

秘

發電昭和四年二月十九日

張宗昌ノ策動ニ關スル件

木下關東長官

田中外務大臣

第二九號(暗)至急

貴電外第二二號ニ關シ

關東州ヲ政治的策動地トナサシメサルコトハ張宗昌ヲ始メ貴地避難  
中ノ支那政客軍人等ニハ夙ニ徹底セシメラレ居ル等ノ處今則張宗昌  
カ八幡丸ヲ借入レ百二十名ヲ率ヒテ星ヶ浦ヨリ山東方面ニ向ツテ出  
發セムトスルカ如キハ時節柄中外ヲシテ日本ノ態度ニ疑念ヲ抱カレ  
メ甚タ面白カラサル結果ヲ來ス次第ニ付貴官ハ日本汽船ヲシテ此ノ  
種ノ輸送ヲ爲サシメサル様然ルヘク手配セラレ度又張宗昌一派ニ對

(赤梓紙)ト

外務省

S 161536 278

シテハ右ノ如キ露骨ナル策動ハ日本政府トシテ到底容認シ難キ所ナ  
ル旨嚴重注意セラレ度  
在奉天總領事ヘ轉電アリタシ北京、天津、濟南、青島、芝罘、上海  
漢口、南京ニ轉電セリ

(赤梓紙)ト

外務省

S 161536 279

電送第 1575-6 號  
 昭和 4 年 2 月 19 日 7 時 1 分 發

次官

歐米局長

情報部長

主 任 亞細亞局長

了

昭和 四年 二月 十九 日

件 張宗昌等、再起計画ニ関スル件

名 込 綴

在米 出陣大使

田中外務大臣

第 六 六 六 號

大連ニ亡命中、張宗昌、吳光新等、一派ニ再起運

動、計画アリト、風説過般來傳、ラレ居タル度、密、情

報、依、最近相當進捗ニ来ルニ、様様アリ、尤モ、其ノ具

体化ノ程度不明ナルノ、ナラズ、假令、実行スルモ、成功ノ望

電 信 案

外 務 省

其ノ少キモノト、認メサルヲ得サルカ、彼等ノ言ニ依、右運動ハ  
 現國民政府ニ反對、各派ヲ糾合シテ共和大同盟ナルモノヲ  
 組織シ、真正共和ノ回復、民主立憲ノ実行、五色旗ノ擁  
 護ヲ標榜シテ現政府打破ヲ期スルモノニシテ、既ニ西南方  
 面ニテ、吳佩孚ヲ代表ヲ派遣シ、楊森等ノ四川將  
 領ニ参加ノ約アリ、廣東、陳炯明ハ自ラ大連ニ來ツテ議  
 ニ参加シ、又、李宗仁、李濟、白崇禧、周錫山、商震

(原議用紙乙)

S 161536 281

電 信 案

外 務 省

河相  
 大連ニ亡命中、張宗昌、吳光新等、一派ニ再起運  
 動、計画アリト、風説過般來傳、ラレ居タル度、密、情  
 報、依、最近相當進捗ニ来ルニ、様様アリ、尤モ、其ノ具  
 体化ノ程度不明ナルノ、ナラズ、假令、実行スルモ、成功ノ望

S 161536 280

等モ聯絡又リ了解アリ山東河南方面ノ軍隊ニモ氣脈ヲ  
 通スル者アリ殊ニ山東ニ於テ芝罘ノ劉珍年誠意ナキ  
 ニ依リ其ノ部下ノ軍隊ヲシテ回人ヲ驅逐セシメタル上該地方  
 ヲ根據トシテ山東ニ勢力ヲ張ラントスルモノナリト云フ。  
 右ニ付テハ外間●日本側ノ援助アルカ如何傳フルモノアレドモ  
 我方ニ於テ何等支援ヲ望ムルカ如何ナキハ勿論ナルノミナラズ  
 關東州ヲ政治的策動地ト為サシムヘカラストノ我方從來ノ

(原議用紙乙)ナ

電信案

外務省

3.2

S 161536 282

方針ハ彼等ニモ徹底セシメ居リ又山東ニ於テモ日本兵駐  
 屯ノ現状ニ於テ斯カル及至民政府運動ノ行ハルノ下諸般ノ  
 關係上面白カラサルヲ以テ出先ニ於テモ此ノ方針ニテ處置シ居  
 ル次第ナリ尚最近張宗昌が自ラ大軍ヲ山東ニ渡ル為  
 日本船ヲ備船シタルト知ラタルヲ以テ日本船ヲシテ斯カル輸  
 送ヲ為サシメサル様關東底ニ命シ置キタリ

(原議用紙乙)ナ

電信案

外務省

3.2

S 161536 283

電信案

外務省

ニ時送セシメ傳マシ  
聯監常事務局長及杉村ニ轉報  
セシメラレ度シ

(原議用紙乙)

8.2

S

161536

284

REEL No. A-0804

アジア歴史資料センター





昭烈 4 二三七〇 暗

本省 濟南

二月二十日 後着

亞

田中外務大臣

西田總領事代理



東方方針

二月二十日

陸海參謀  
寫送付済

電信寫

下池録  
上海修  
分三五分

本官發外務大臣宛電第三一號ニ關シ  
其ノ後關東長官及芝罘發大臣宛電報ニ鑑ミ北洋派ノ反革命運動モ  
愈具體化シ來リ之カ對策攻究ノ必要モ起リタル處佐藤大佐昨十  
九日貴地ヨリ歸濟滯青中貴官トモ右方針ニ付大體協議スル處アリ  
タル趣モアリ本二十日日本官軍側ト協議ノ上不取敢左ノ通大體ノ方

針ヲ定メ膠濟沿線部隊ヘ内訓スルコトナリタルニ付貴官ニ於テ

御意見乃至氣付ノ點モアラハ電報アリタシ

一、日本軍(備)境內ニ於ケル反革命運動ノ策動(辦公署ノ設置、

募兵、武器購入等)ハ一切之ヲ禁止シ表面ニ現ハレ又ハ具體的

ニナリタル場合ハ必要ニ依リ之ニ對シ退去等ノ措置ヲ執ルコト

ニナリタル場合ハ必要ニ依リ之ニ對シ退去等ノ措置ヲ執ルコト

二、反革命軍ノ(備)境內(過)及侵入ハ一切之ヲ許容セス

三、反革命軍ニ干與スル本邦人アラハ之ニ警告ヲ加ヘ極端ナルモノ

ニ對シテハ退去處分等適宜處置ス

關東長官ニ「バラフレース」ノ上郵送セリ

外務大臣。北平。上海。南京。天津。奉天。漢口。芝罘ニ轉電シ

張店。博山。坊子ヘ暗送セリ

S 161536

286

S 161536

285

電信寫

昭和四年貳月

芝罘  
本省

二月二十日後着

照

田中外大臣

第三四號

本官發爾東長官宛電報第九號

數日前龍口林巡查ヨリ説諭ヲ加ヘ大連ニ歸シタル根本外三名ノ日  
本人浪人（暗殺隊ナリトノ評判アリ）ハ張宗昌發黃鳳岐及劉開泰  
宛紹介狀様ノモノヲ携帶シ且各自貴廳ノ許可證ナクシテ護身用拳  
銃ヲ所持シテ本二十日突然大連ヨリ當地ニ來レル處支那官憲ノ爲  
拳銃ヲ押收セラレタルヲ以テ不取敢交渉シテ拳銃ハ取返シタルカ  
今後同人等ノ行動ニ嚴重取締ヲ加フルト共ニ拳銃ハ當分當館ニ於

テ保管スル積リナリ根本ハ後備歩兵軍曹ナルモ他ハ一職ナキ浪人  
ナリ尙今回張宗昌一行ニ加ハリ龍口ニ上陸セル日本浪人二十四名  
ニ對シテモ我政府ノ真正中立ニ惡影響ヲ及ホシ且國際的誤解ヲ招  
クカ如キ行動アル場合ハ嚴懲ナク取締ヲ加フル所存ナリ  
大臣、北平、青島、濟南、上海ニ轉電セリ

S 161536

288

S 161536

287

四三〇 后三〇〇  
前一二三  
試三三

柴田南亭駐在官

海軍次官  
軍令部次長

極秘

機密七五五四電

前電青本ノ昨二月十九日柏谷兵曹長ニ漏ストコロニヨレハ  
左ノ如シ

彼等ハ二月末或ハ三月初南京ニ動乱ヲ起ス(企圖)ヲ有ス  
既ニ使衣隊及爆彈等ヲ搬入シアリ尚張ノ今回事ヲ等  
クハ日本派ノ多數ノ賛助ニ依ルニシテ頭山滿ノ賛同ア  
リ彼ノ前身ハ馬賊ニシテ決死ノ覺悟ヲ以テ来レリト云フ昨  
夜又ハ官ニ對シテ絕對秘密ニシテ度旨ヲ前提トシテ梅及  
再テ對ス目的カガ如ク婉曲ニ告ゲ青報ノ手ヲ指ラント

セモ青班ハ共產黨ニ買収セラレタリ(同盟)大会前事  
ヲ等ガシ極秘ナリトト知リ佳慮中 昨夜密使来リ日  
本軍ノ撤退シ待テ決行セヨトノ策アリシヲ以テ本二十日部  
下一名ヲ上海ニ送り爾レ青班ト交渉セシムルヲ告ゲタリ  
彼ノ心慮極メテ謹直トシ人相殺等ヲ希ビ現ニ刀痕  
アリ肯テ無謀ノ策ニ出デザシヲ保シ難ク目下領事ハ出港  
中ニ本ヲ通知ナラズニ實行セシムル可否ニ就テ中央ノ  
決裁ニ待ツ  
右取敢エス報告ス

二十日

S 161536

290

S 161536

289



段祺瑞後  
二月二十日

電信寫

天津 二月廿一日前着 亞  
本省 田代總領事代理

田中外務大臣  
第三八號

關東長官發閣下宛電報第二一號ニ關シ

段祺瑞ハ二月二十日白井副領事ニ左ノ通内話セリ

吳光新、張宗昌等ノ共和同盟ニ付テハ諒ヲ聞及ヒ居ルモ自分ハ  
近來消極主義ヲ持シ居リ直接彼等ノ贊助ニハ關與シ居ラス

自分ノ見ル處ニテハ膠東ニ於ケル策動ハ兎ニ角各處一齊ニ事ヲ起  
スニハ時機尙早ナリト思考ス

ニ彼等ハ自分ヲ推戴ストノ事ナルカ自分ハ之ヲ應諾シタル次第ニ

非ス自分カ先聲關係上是レ迄各方面ヨリ此ノ種ノ話拵掛ケラレタ  
ル事アルモ取合ハサリシカ眞ニ國家人民ノ爲トナラハ努力スヘシ  
三、張宗昌ノ山東方面策動ハ日本側ノ諒解ノ下ニ行ハレ居ル事ト自  
分ハ推測スルカ彼等ノ申出ニテハ日本ヨリ膠濟鐵道收入ヲ擔保ニ  
借款シ得ルコトトモナラハ張宗昌カ山東督辦ノ官印ヲ現ニ保管シ  
居ルニ付之ニ依リ契約ハ如何様ニモ作り得ヘシトノコトナリ(極  
秘)  
四、張宗昌カ獨逸ヨリ購買セル小銃八萬挺其ノ他ノ武器ハ近ク其ノ  
手ニ入ル筈  
尙王揖唐カ白井ニ内話セル處ニ依レハ段ハ吳光新一派ノ策動ニ全  
然贊同シ居ルモノ非ス寧ロ其ノ輕舉妄動ヲ戒メツツアル次第ナル

S 161536

292

S 161536 291

カ彼等モ待ツニ待タレス遂ニ膠東ニ事ヲ起サムトスルニ至レルモ  
ノナルヘキモ當方面ノ聯絡ニ付テハ何等承知シ居ラストノコトナ  
リ

關東廳へ大意電報セリ

北平、奉天、青島、濟南、上海、南京へ轉電セリ

S

161536

293

REEL No. A-0804

アジア歴史資料センター

電信寫



田中外務大臣

青島 本省

二月廿一日後着

藤田總領事

亞

第四七號ノ一

關東長官發閣下宛電報第二三號ニ關シ

張宗昌既ニ龍口ニ上陸シタル以上膠東一帯ヲ策源地トシテ活動スヘキコトハ當然ナル處其ノ行動ノ今後山東方面ノ政局及我方ノ立場ニ及ホスヘキ影響ニ付テハ此ノ際相當注目ヲ要スヘシ張宗昌ノ行動ハ兇惡ニ類スルカ如キモ萬一今後一ヶ月モ持堪ヘ得ルニ於テハ支那ノ通弊トシテ其ノ間策應者ノ輩出スルナキヲ保セス殊ニ鐵道沿線附近一帯ニ割據シ約三萬ノ兵力ヲ有スル劉黑七、黃鳳岐、

顧震等(濟南發閣下宛電報第三一號參照)ノ懷柔ニ成功セハ地方的一勢力トモナリ相當ノ期間膠東一帯ノ地盤丈ケハ保持シ得ヘシト認メラル然ルニ一方之ヲ討伐スヘキ馮玉祥側ノ現勢ヲ案スルニ馮ハ精銳十二師ヲ有シ張ヲ討ツヘキ實力ハ充分ナルモ其ノ大部分ハ現ニ武漢、陝西、山西ノ各方面ニアル孫傳英、徐源泉等ノ舊直魯系ニ備ヘ十二師ノ中僅カニ四師ヲ泰安方面ニ止メ居レルニ過キサル實狀ナレハ急遽芝罘方面ニ迄大部隊ヲ進ムルコトハ甚タ困難ニシテ其ノ間相當ノ時日ヲ要スヘク而シテ長引ケハ長引ク程張側ノ策動ハ有利ニ展開シ得ルカノ可能性モアルヲ以テ今後ノ變化如何ニ依リ山東方面ハ相當面倒ナル事態ヲ惹起スヘク懸念セララル

(續ク)



161536

295



161536

294

電信寫

田中外務大臣

第四七號ノ二

青島 本省 二月廿一日後着

亞

藤田總領事

斯ル事態ハ我方トシテ迷惑至極ナルノミナラス南京政府ハ之ヲ奇貨トシテ運宣傳ニ愚用スル悞アルニ付テハ我方ノ張ニ對スル態度ハ申迄モ無ク陸海軍側トモ聯絡シ嚴正ヲ旨トシ張ノ勢力ヲ整備區域ニ近ツケシメサルノミナラス又同區域内ニ於ケル策動ヲ嚴禁シ一切張系色彩ヲ有スル軍事關係者ノ在留ヲ認メス邦人ノ浪人者ニ對シテモ此ノ際一層嚴重ナル取締ヲ勵行スル方針ナリ  
尙此ノ際我先軍隊ニ於テ支那側ノ誤解ヲ惹キ起スカ如キ行動ヲ

絶對ニ爲ササル様矣々モ注意方佐藤大佐ニ申入置キタリ又近ク濟南事件解決ヲ見ルニ當リ尙斯ル事態存續ノ場合ニハ日支軍隊交替ノ中間ニ於テ事ヲ起シ易キ危險性伏在スルヲ以テ撤兵方法ニ付テハ申迄モ無ク豫メ充分ナル御考慮ヲ煩度シ  
北平、濟南、上海、南京、芝罘、奉天、天津、漢口ニ轉電シ坊子、博山、張店へ暗送セリ

山東形勢  
我方方針

陸海參謀  
寫送付済

電信寫

昭和4 二四二八 暗 青島 本省 二月廿一日後着 藤田總領事

田中外務大臣  
第四八號

本官發濟南宛電報  
第一五號

貴電第二五號ニ關シ

御來示ノ方針ニ對シ我方大體異存無キモ當地軍備ノ意見ニ依レハ  
孰レヲ反革命運動又ハ反革命軍ト看做スヘキヤ實際上區別困難ノ  
場合モ想像セラルルニ付之ヲ治安紊亂ノ運動トカ又ハ治安維持ニ  
妨害アリト認ムヘキ不純軍隊ト訂正スル方然ルヘシトノ事ニ付テ

ハ右實地軍備トモ今一應御打合アリタク尙張今次ノ行動ニ關シテ  
ハ日本軍トノ間ニ何等聯繫アルカ如ク臆測セル向アルニ加ヘ南京  
政府備ニ於テハ之ヲ奇貨トシテ逆宣傳ヲ試ミントスル懸念モアリ  
旁右我方ノ公正ナル態度ハ至急一般ニ周知セシムル要アリト認メ  
ラルルニ付此ノ點併セテ軍備トモ御協議ノ上至急適宜御措置相成  
度ク又本件方針決定ノ上ハ之ヲ出先軍隊ニ徹底セシメ實行上遺憾  
無カラシムル様取計方特ニ軍備ノ注意ヲ喚起シ置カルル様致度シ  
大臣、北平、上海へ轉電セリ

S 161536 299

S 161536 298



電信寫

陸海參軍へ  
寫送付済

我方方針  
公表方

昭和4 二四二七 暗 青島 本省 二月廿一日後着

田中外務大臣

第四九號

濟南發本官宛電報第二五號及本官發濟南宛電報第一五號ニ關シ  
御異存無キニ於テハ至急右方針ヲ公表シ以テ支那側逆宣傳ニ備ヘ  
度キニ付何分ノ儀折返シ御回示相成度シ  
在支公使、上海、濟南へ轉電セリ

藤田總領事

(北洋派策動ニ關スル件)

四行あり

後

S 161536 300

秋

張

林總領事  
意見

電信寫

昭和4 二四一三 暗

奉天 本省

二月廿一日後着

亞

田中外務大臣

林總領事

第一四〇號ノ一(極秘)

關下發關東長官宛電報第二九號ニ關シ

八幡丸ハ四電接到前出帆濟ニテ關東廳トシテモ同船ノ輸送阻止方  
手配ノ由ナカリシ次第ナルモ當館接受諸般ノ情報ニ依レハ關東州  
ヲ軍的策動地ト爲サシメストノ政府ノ御方針ハ必スシモ關東廳側  
ニ徹底シ居ラサリシモノノ如ク本官ニ於テハ吳、張等ノ計畫ハ日  
本側ニ對スル關係上内密裡ニ進捗中ノコトト思考シ居タル處今回  
張ノ門出ノ如キハ公々然而モ極メテ仰々敷行ハレ内外人一般ニ對

シ關東廳側内面ノ了解アルモノトノ感觸ヲ與ヘタル觀アリ又張學  
良側ニ於テハ往電第一一六號所報同人ノ大連方面ニ派遣セル密偵  
カ關東廳側ヨリ過度ノ壓迫ヲ受ケタル等ノ關係上張今回ノ舉事ニ  
ハ日本政府少クトモ關東廳ノ了解アルモノト斷定シ居ルカ如シ右  
ニシテ軍ニ本官一己ノ杞憂ニ終ラハ幸ナルモ東三省一帯ニハ吳、  
張一派ノ勢力乃至計畫ヲ通信シ同派ノ山東進出ニ依リテ支那本部  
ニ於ケル諸勢力對立ノ狀態ヲ誘致シ以テ東三省ノ局面打開ニ資ス  
ヘシトノ論者ナキニアラサルヲ以テ(續ク)

S 161536

302

S 161536 301

電信寫

昭和年 二四一六 暗

奉天 本省 二月廿一日後着

亞

田中外務大臣

林總領事

第一四〇號ノ二(極秘)

政府ノ御方針一定セルニ拘ラス出先官憲ノ措置ニ途ニ出テンカ再  
ヒ往年ノ如キ二重外交ノ端ヲ開クニ止マラス濟南事件未解決ノ今  
日山東地方ノ擾亂ニ關シ帝國ノ立場ニ付彼此疑惑ヲ招クハ關東長  
官宛御訓示ノ通帝國ノ對支政策全般ノ上ニ於テ極メテ不利ナルモ  
ノアルハ勿論南方トノ懸案一段落ノ前後ヲ期シテ當方面ノ局面打  
開ノ方途ニ出テラレントスル我立場ニ大ナル支障ヲ與フル悞アリ  
本官ニ於テハ今後對東三省局面轉換策遂行ニ當リ充分ナル實蹟ヲ

舉ケンカ爲ニハ系統ヲ異ニセル本邦側諸機關併存ノ當地特殊ノ事  
態ニ鑑ミ先以テ本邦側各機關ノ協調ヲ肝要ト思考シ平素ヨリ此ノ  
點ニ充分ノ注意ヲ用ヒ居ル次第ニモ有之旁文武何レノ方面タルヲ  
問ハス政府ノ方針ヲ體シ毫モ逸脱ノ行爲ナキ様此ノ際中央ニ於テ  
篤ト御懇談ノ上關係方面ニ嚴訓アラン事切望ニ附ヘス  
北平、上海、南京、芝罘、濟南、青島へ轉電セリ

S 161536

304

S 161536 303

外務省

陸 同 文

電 報

謀 次 長 宛

昭和四年二月二十一日  
二月二十日午後八時三十分發  
第三師團長

山東方面  
我方方針

三 謀 第六八號(其一三)

日本側が北方叛徒ノ及革命運動ヲ支持シ又ハ之ニ了解ヲ與フル等ノ  
誤解ヲ受クルコトハ全般ノ形勢上極メテ不利ナルニ鑑ミ從來此種ノ  
誤解ヲ受クルノ虞レアル一切ノ言動ヲ避ケ來リシミナラス各等口之ヲ思  
ヒ止マラシムル様指導セシキ 張宗昌等ノ輩口上陸ニ関連シ及革  
命運動モ漸ク具體化セトスルニ至リシヲ以テ日本側ノ態度ヲ決定シ  
最近之ニ臨ムルハ必要アルヲ認メ領事側ト協議ノ結果左ノ方針ニテ  
進ムコトトセリ

一 宣言區域外ニ於テ募兵 武器ノ購入 司令部ノ設置等ノ及革  
命的策動ハ一切之ヲ禁止シ必要ニ應ジ此ノ種ノ策動ニ在ルモノ

ヲ宣言區域外ニ退去セシム

二 反革命軍ノ宣言區域外ノ通過及同區域外ニ進入ハ之ヲ許容  
セス

三 反革命運動ニ直接関與セル日本人アラハ先ツ之ニ對シ警告ヲ  
與ヘ極端ナルモノニ對シテハ退去處分等適宜處置ス

尚右日本側ノ態度ハ宣傳機關ノ利用其他ノ方法ヲ以テ一般ニ  
徹底スル様取計ヲ予定ナリ

(南京ハ上海ヨリ轉電アリ度)

關東、北京、天津、上海、濟

S 161536 306

S 161536 305



電信寫



昭和4 二四七四 暗

芝罘 本省

二月廿二日後着

亞

田中外務大臣

森岡領事

第三七號

本官發關東長官宛電報

第一〇號

往電第九號ニ關シ

鈴木隆夫 伴銀夫

日本浪人根本

牧高見、輪徹雄及伊藤重吾ノ四名ニ對シ本

二十二日當埔發行支那新聞ハ同人等ハ張宗昌ノ手下ナリト素破抜

キ又交渉員ハ戒嚴司令部ノ命ニ依リ官ノ護照無クシテ猥ニ武器彈

藥ヲ携帯シ且職掌及旅行目的全然不明ナル此ノ種浮浪日本人ノ上

陸ハ時局柄治安維持ニ妨害アルニ付嚴重取締方並ニ同人等渡航ノ

目的取締方公文ヲ以テ皮肉ニ要求シ來レル處右ハ我方ノ公正ナル

立場ニ極メテ不利ナル影響ヲ及ホスモノト認メ説諭ノ上明二十三

日午後五時出帆ノ海壽丸ニテ大連ニ歸ラシムル事トシタリ尙今後

此ノ種浪人續々大連ヨリ渡航シ來ル事ト存セラルルニ付テハ尙今

嚴重取締方大連警察當局ヘ訓達方御配慮ヲ請フ

外務大臣、北平、奉天、天津、濟南、青島、上海へ轉電セリ

法司係印人

ケイ

S 161536

309

S 161536 308

大官

田中  
外務大臣  
二月三日

電送第 1642 號  
昭和四年二月三日 10時 分發

電信課  
主任 張宗昌  
(起算昭和四年二月三日)

件 張宗昌部下邦人ノ行動ノ関スル件

宛 在南京日本領事

附 第二七 號

相親

發 田中外務大臣

名込紙

内幕情報ニ依テ張宗昌ノ副顧問ト稱スル日本人青

木白柳ナル者部下ノ邦人ニ名ト共ニ改名シテ本月十

三日頃貴地ニ赴キ目下下関方面ニ宿泊シ居ル事

目的ニ該邦人等ノ南京於テ動乱ヲ起ス事

電信案

外務

S 161536 310

(原議用紙乙)

既ニ便衣隊及爆彈等ヲモ搬入シテアト稱シ

又) 前投トシテ先ツ蔣政王ヲ倒ス目的ヲ以テ

青班手ヲ借テ南京ニテテラントシテアト稱シ

官ノ右果ト事案トヤ華惠女密取調上回電

アリ度シ

北平、上海、青島、濟南、芝罘、轉電ヤリ

電信案

外務省

S 161536 311

電送第1644-46號  
 昭和四年二月二日 10時 分發

電 信 案	在支 塘代理公使 在上海 上村總領事代理 在青島 島田總領事代理 在濟南 西田總領事代理	件 張家駒却下邦人、行動之圖ニ付 名込綴
		發 田中外務大臣
外 務 省	在大使 發、在南京 領事先電報分ニ付 號	任 主 任 田中外務大臣 (起草 昭和四年二月二日) (原議用紙甲) 國幣
	(以下同電全文轉電) 青島島田「芝罘」轉電アリ、付記ナシ	

S 161536 312



極秘

寫

發電寫

昭和四年二月二十一日發電

張宗昌部下邦人ノ行動ニ關スル件

在南京 岡本領事

田中外務大臣

(暗) 第二七號極秘

情報ニ依レバ張宗昌ノ副顧問ト稱スル日本人青木白樺ナル者部下ノ邦人二名ト共ニ變名シテ本月十三日頃實地ニ赴キ目下下關方面ニ宿泊シ居リ同人等ハ南京ニ於テ動亂ヲ起ス企圖ヲ有シ既ニ便衣隊及爆彈等ヲモ搬入シアリト稱シ又前提トシテ先ヅ蔣及王ヲ倒ス計畫ナリト稱ヘ居リ目下青班ト聯絡ヲ取ラントシツツアリトノコトナルカ内密御取調ノ上回電アリ度シ

(赤梓紙)ト

外務省

S 161536 313

北平、上海、青島、濟州、芝罘ニ轉電セリ

(赤梓紙)ト

外務省

S 161536 314

極秘

寫

發電寫

昭和四年二月二十一日發電

張宗昌部下邦人ノ行動ニ關スル件

在南京 岡本領事

田中外務大臣

(附) 第二七號極秘

情報ニ依レバ張宗昌ノ副顧問ト稱スル日本人青木白樺ナル者部下ノ邦人二名ト共ニ變名シテ本月十三日頃重地ニ赴キ目下下關方面ニ宿泊シ居リ岡人等ハ南京ニ於テ動亂ヲ起ス企圖ヲ有シ既ニ便衣隊及爆彈等ヲモ搬入シアリト稱シ又前接トシテ先ヅ蔣及王ヲ倒ス計畫ナリト稱ヘ居リ目下青班ト稱稱ヲ取ラントシツツアリトノコトナルカ内密御取調ノ上回電アリ度シ

外務省

(赤梓紙)ト

S 161536 315

北平、上海、青島、濟南、芝罘ニ轉電セリ

(赤梓紙)ト

外務省

S 161536 316



大書  
好

電送第 1673 號  
昭和四年二月二十二日 午後六時五十分發

上海  
汪精衛  
張宗昌

電信課長  
主任 田中  
昭和四年二月二十一日

主 張宗昌關係邦人、行動、圖之件

管 田中

名 田中  
田中外務大臣

宛 在上海 上村總領事代理

暗 第二十八號

二十二日汪公使亞細亞局長ヲ末訪シ情報ニ依レバ  
須藤理助過般來大連上海間ヲ往復シ張宗昌  
等、及國民政府運動者ト聯絡シ居ルカ一西日前上  
海ニ歸リ、持石等國民政府幹部、暗殺(蔣ハ

電信案

外務省

S 161536 319

其、杭州より、帰途ヲ要シテ実行スルヲ企圖シ、アリ  
トノ事ニ付、其、真偽ハ不明ナルモ、兎、角日本側ニ於テ、  
至急調査ノ上、事實ナルハ、嚴重取締アリ度旨申出テ、  
タリ、本大臣、在南京領事宛電報第二七號、如キ  
情報モ、**好板**付至急所取調ノ上、何等類似ノ事  
實アリ、充分取締スレ度シ

訓令トシテ南京、杭州ニ轉電アリ、北京、青

電信案

外務省

S 161536 320

電送第1670-2 號  
昭和4年2月22日 6時0分發

電 信 案	件 張宗男關係邦人、行動、圖之件		主 任 主 任 張宗男關係邦人、行動、圖之件 (起草昭和四年二月三日)
	宛 在支 據代理手使 在青島 藤田總領事 在濟南 西田總領事代理	發 田中外務大臣	管 主 任 主 任 張宗男關係邦人、行動、圖之件 (起草昭和四年二月三日)
外 務 省	<p>本大臣發在上海總領事代理宛電報分一二八號</p> <p>（以下同電全文轉電ノ事）</p> <p>青島宛「芝罘」轉電了、度レト附記ノ事</p>		

3.2 S 161536 322 (記)

電信課長

電  
信  
案

(原議用紙甲)

電 信 案	島 濟南 芝罘 轉電了セシム (轉電レテ青島ツレテ)
外 務 省	

3.2 S 161536 321

(原議用紙乙)

秘

發電寫

昭和四年二月二十二日發電

張宗昌關係邦人ノ行動ニ關スル件

在上海 上村總領事代理

出中外務大臣

第一一八號(暗)

二十二日汪公使亞細亞局長ヲ來訪シ情報ニ依レハ須藤理助總領事來大連上海間ヲ往復シ張宗昌等ノ反國民政府運動者ト聯絡シ居タルカ一兩日前上海ニ歸リ蔣介石等國民政府幹部ノ暗殺(蔣ハ其ノ杭州ヨリノ歸途ヲ要シテ實行ス)ヲ企圖シツツアリトノコトニ付其ノ眞偽ハ不明ナルモ兎ニ角日本側ニ於テ至急調査ノ上事實ナラバ嚴重取締アリ度旨申出デタリ本大臣發在南京領事宛電報第二七號ノ如キ情報モ

(赤 梓 紙) ト

外 務 省

S 161536 323

アル折柄ニ付至急御取調ノ上何等類似ノ事實アラバ充分取締ラレ度  
訓令トシテ南京、杭州ニ轉電アリタシ、北京、青島、濟南へ轉電シ  
青島ヲシテ芝罘ニ轉電セシム

(赤 梓 紙) ト

外 務 省

S 161536 324



決意  
情報部

1712  
4+223 190

北平、濟南、芝罘、上海ニ轉電ナリ度ニ

(原議用紙乙)ナ

電信案

外務省

3.2



161536

327

該方針派遣軍側ト協議確定ノ上ニ適當ナル形式ヲ以テ之ヲ公表セシレ度ニ尚此ノ趣旨ハ邦人側ニ徹底セシメ置カレ度ニ

貴電第四九號ニ関シ

暗部 第三六號

宛 在青島 藤田總領事

件 張宗昌等ノ運動對ニ我方態度

主管 亞細亞局長  
主任 亞細亞局長  
(起草昭和四年二月二十二日)

發 田中外務大臣

名込綴

電信課長

電信案

(原議用紙甲)ナ

3.2



161536

326